

# GYRO

ジャイロ



FIA MAGAZINE

VOL.  
**125**

2018 FEB.

## CONTENTS

### 特集 フランス

- 01 Interviews with Foreigners  
ノワロー・ジョン=パスカルさん
- 03 ふくしまで「暮らす。働く」  
ジュローム・クヴァジエさん
- 04 世界を歩こう!~フランス編~  
大石 千寿子さん
- 05 海外グルメ事情  
フランス料理を作ってみよう!
- 06 ぶらっとFukushima  
徐 銓軼さん
- 07 FIA Information

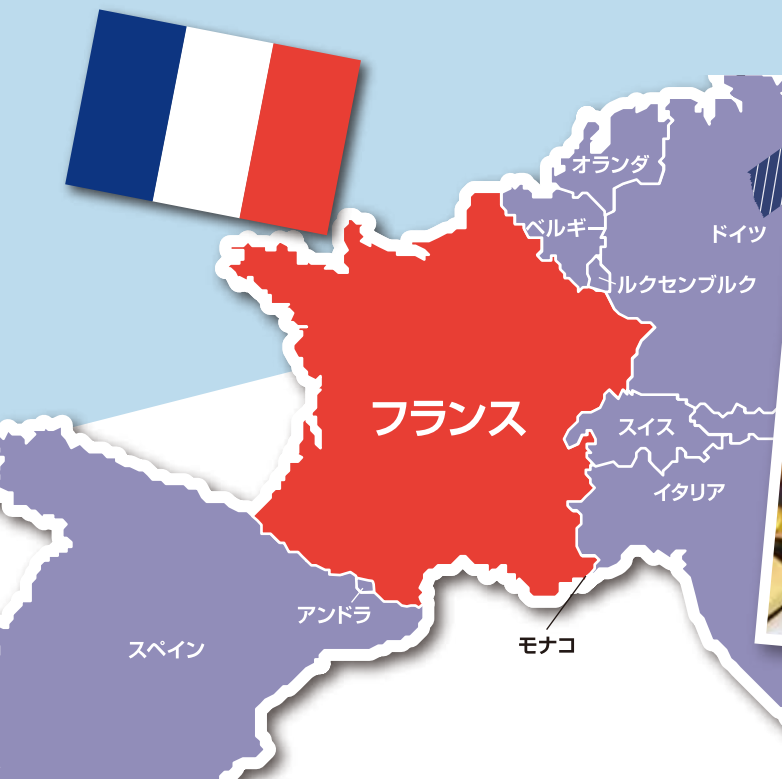


#### シャンゼリゼ大通り

コンコルド広場から、凱旋門のあるシャルル・ド・ゴール広場まで延びる全長約2kmの並木道。クリスマスにはシャンパンの泡のようなイルミネーションが点灯する。

撮影:ジュローム・クヴァジエさん(エース・ランゲージスクール代表)

ファッションや美術、料理など、文化的に高い評価を受ける国として有名なフランス。日仏友好160周年を迎える2018年は、7月から“世界にまだ知られていない日本文化の魅力”を紹介する大規模な複合型文化芸術イベント「ジャポニスム2018」がパリを中心に開催されます。今回はフランスについて特集します。



### フランス共和国(フランス)

西ヨーロッパに位置するフランスは、ベルギー、ルクセンブルク、ドイツ、スイス、イタリア、モナコ、スペイン、アンドラと国境を接している。地中海、大西洋、北海の3つの海に面し、南部にはアルプス、ピレネーなどを中心とする山岳部が広がる自然豊かな国である。国際観光客到着数世界一(2016年)\*1を誇る観光都市であり、日本人観光客も毎年多数訪れている。観光の国であると同時に農業大国でもあり、国土の約52%\*2の農用地では穀物や畜産業が営まれ、ワインの生産も盛ん。

\*1 『UNWTO Tourism Highlights 2017Edition日本語版』  
\*2 農林水産省HPより

## Interviews with Foreigners

### ノロー・ジョン=パスカルさん

有限会社ワークステーションの代表取締役。出身地であるフランス南西部ベルジュラックのワインを中心に直輸入販売をしています。定期的に行うワインの試飲会や料理教室が好評。ふるさとのワインの良さを知ってもらおうと、妻の三起子さんと二人三脚で奮闘しています。

### ■ 出会いはパリ

ボルドーの大学でマーケティングを学んでいたパスカルさん。在学中はアメリカの総合商社のパリ支店で研修していました。ちょうどその頃、同じパリで料理の勉強をしていた三起子さんと出会います。実は三起子さん、フランス料理の学校、ル・コルドン・ブルー東京校の一期生。上級コースを学ぶためにパリに留学中でした。

1996年に結婚し、1998年1月にご夫婦で来日。東京でフランスの食器やシルバーのカトラリーを輸入する会社を起業します。ただ、二人とも食べたり飲んだりするのが好きだったので、いずれはワインの輸入をと考えていたそうです。

## ベルジュラックワインを広めたい

フランスワインと言えば、ボルドーやブルゴーニュなどの産地は日本でも知られており、量販店などで手に入る銘柄も多くあります。ところが当時は、パスカルさんの実家があるベルジュラックのおいしいワインを日本で目にする機会はなかなかなかったそうです。本当はおいしいベルジュラックワインがあるんだということを広めたい—二人はお酒を輸入する免許を取得後、2000年からワインの輸入を始めます。その後、三起子さんの実家がある郡山に移住することに。

## 日本語は現場で

学生時代は日本語と無縁だったので、来日後は新宿の語学学校で日本語を勉強します。でも、郡山では日本語に苦戦したとか。「イントネーションが違うし、～だっぺとか、そうだばいとか言われたら『え～!!』って(笑)これ、日本語ですか?って(笑)」この方言の壁、地方在住の外国出身者は心当たりがあるのでは?「ワインを売るためにはしゃべらないと。早く覚えようと一生懸命皆さんの会話を聞いて、新しい言葉を覚えました。」

## ワインから広がる交流

定期的に行っている試飲会と料理教室は、今では参加者の交流の場になっています。「ワインは食中酒。単体で飲むのではなく、食べ物があった方が絶対おいしいので、その良さを知ってほしい。」毎月開催する試飲会では4種類のワインが楽しめ、フランスに料理留学していた三起子さんがワインに合うお料理でおもてなしします。「ワインから始まるんです。『ワイン好きですか?』って。これが最初の入り口なんですよ。」とパスカルさん。知らない人同士がワインという共通の趣味から会話が始まり、音楽、食べ物などテーマがどんどん広がっていく。

「ワインは会話を生み出す飲み物。会話が弾めばその場が楽しくなります。」

「もうやめようか二人で話したこともありましたが、地道に続けてきた結果が今なんだと、ようやく思えるようになりました。」と三起子さん。継続は力なり。ワインから広がる交流の輪はこれからも広がっていきます。



パスカルさんと三起子さん

## ○ フランスと県内の姉妹都市交流

フランス・コンピエーニュ市と白河市は、昭和63(1988)年10月20日に姉妹都市の盟約が締結され、2018年は30周年を迎えます。フランス北部に位置するコンピエーニュ市は、パリから北北東に約80km、鉄道で約1時間の距離にあります。白河市国際交流協会は、これまでに計15回、279人の中学生を派遣し、教育・文化・スポーツ・観光等幅広い分野で交流を深めています。



ふくしまで  
「暮らす。働く」

## ジュローム・クヴァジエさん

ふくしまで「暮らす。働く」ステキな人にお話を伺います。今回は来県してから30年以上にわたり県内で英語とフランス語を教えているジュローム・クヴァジエさんです。



### 出身地は？

フランスのグルノーブルで生まれ、グルノーブルから30キロほど山に向かったヴィラルール・ド・ランスに高校生の頃まで住んでいました。グルノーブルは、1968年に第10回冬季オリンピック\*が開催された場所。フランスの南東部にあり、直線だとイタリアのトリノからも近いです。ヴィラルール・ド・ランスは、2,000m級の山々に囲まれ、学校まではスキーで通っていました。

### 福島へ来たきっかけは？

大学卒業後、4年間パリの中学校と高校で英語教師をしていた時、郡山市の語学学校が英語とフランス語が話せる講師を募集しているチラシを見つけて応募しました。1年間休職して1986年に日本へ。妻との出会いもあり、1年後にフランスの学校を退職して、それから郡山市に暮らしながら英語とフランス語を教えています。

### 今のお仕事のきっかけは？

初めてフランス語を教えたのはパリ大学在学中の18歳の夏。アメリカのケンタッキー州ルイビル大学で3週間位教えました。その後、21歳の時にもアメリカの大学で1年間フランス語を教えました。テストを作ったり採点したり大変だったけど楽しかったです。英語が得意だったのでフランスに戻ってから教師の資格を取りました。



スキーをするジュロームさん

### 福島県に住んでみてどうですか？

小さい頃から山の景色を見て育ったので、落ち着きます。山がないところは逆に住みづらいですね。福島県は自然が素晴らしい。野菜がおいしい、お米がおいしい、お酒がおいしい、フルーツがおいしい。人がやさしい。車で1時間でスキーが出来る！

### 自分達ができる範囲で今のペースで

ジュロームさんは現在、ご夫婦と一緒に「エース・ランゲージ・スクール」で英会話とフランス語を教えながら、日大東北高校の英語非常勤講師として勤務しています。結婚30年を迎える奥様は「自分達ができる範囲で今のペースで。英語なりフランス語なり子ども達に好きになってもらえればいいなって思っています。」仲の良いお二人が印象的でした。

※グルノーブルオリンピック

1968年2月6日から2月18日までフランスのグルノーブルで開催された冬季オリンピック。アルペンスキーの男子種目では、フランスのジャン＝クロード・キリーが3種目全部で優勝を果たした。オリンピックを記録した映画『白い恋人たち』が有名。

Walk the World! **世界を歩こう!**

**フランス編**

フランスが世界に誇る美術館は何度も訪れたい場所のひとつ。フランス政府公認ガイドの大石さんが、パリの素敵なカフェ・レストランのある美術館を紹介します。  
「おすすめMusée (美術館) は展示作品だけじゃありません!」

福島県伊達市保原町出身、県立福島南高等学校国際文化科の一期生。東京都の公立中学校教諭を経て2012年に渡仏。パリ第4大学(ソルボンヌ)で美術史・考古学を学びながら、2016年フランス政府公認ガイドの免許を取得。



案内人  
おおishi ちずこ  
大石 千寿子さん  
(フランス福島の会)

**フォンダシオン ルイ・ヴィトン**

Fondation Louis Vuitton

2014年10月にオープンした美術館は、世界的建築家のフランク・ゲーリーのデザインで、パリの西、スローニュの森という海に現れた船のような建物。2018年3月5日までニューヨークのMOMA(ニューヨーク近代美術館展)から200点もの作品が展示されています。



フォンダシオン  
ルイ・ヴィトン



ルーブル美術館

**ルーブル美術館** Musée du Louvre

作品の素晴らしさはもちろん、14世紀からフランス王家の居城として使われた建物には、各王様のエスプリが詰まっています。

**カフェ・リシュリユ**

ナポレオン1世の時代に建築されたリシュリユ翼三階のカフェ・リシュリユにはモンブランで有名なアンジェリーナが入ってます。鑑賞の合間に、ルーブルのピラミッドと行き交う人々を眺めながらモンブランとショコラショー(ホットチョコレート)はいかが。



カフェ・リシュリユ

**ル・フランク**

併設のレストラン「Le Frank」ル・フランクは星付きシェフのジャン＝ルイ・ノミコス氏がプロデュース。多国籍料理を取り入れたフランス料理からインスピレーションを受けた繊細な料理が提供されます。



**バカラ美術館**

Galerie-Musée Baccarat

1764年創業、クリスタルの代名詞バカラの本社兼ギャラリー。もともとフランスの名門貴族ノアイユ夫妻の邸宅をフィリップ・スタルク(浅草のアサヒビル本社ビルをデザイン)が改装。インドのマハラジャやロシア宮廷、日本の皇室などバカラが世界中に収めた名品を見ることが出来ます。



バカラ美術館

**クリスタル・ルーム**

併設のレストラン「クリスタル・ルーム」は2つ星シェフ、ギ・マルタン氏のプロデュース、もちろん使用する食器はバカラです。



オール

**ヴェルサイユ宮殿** Château de Versailles

1837年、国王ルイ・フィリップにより歴史博物館となったヴェルサイユ宮殿は、パリから一番近い世界遺産です。太陽王ルイ14世がパリから遷都し、約100年もの間フランスの中心でした。795haの広大な敷地には宮殿、トリアノン、王妃の村里など、ここは1日かけてじっくりまわりたいですね。



ヴェルサイユ宮殿

**オール**

おすすめの 레스토랑はスーパーシェフのアラン・デュカスがプロデュースした「Ore」オール。「Ore」とはラテン語で「唇」という意味で、フランス式生活美学の重要な柱である「食の喜び」を連想させます。マリー・アントワネットになったつもりで、優雅に午後のティータイムを過ごせますよ。

**番外編 最近オープンした美術館**

**香水大博物館**

フランスといえばパルファン(香水)。フランス人にとって香水はアクセサリーの一部であり、自分の個性を表現するものです。8区、フォーブール・サントノレ通りに2016年12月にオープンしたこの博物館では、「香水の歴史」「嗅覚の秘密」「調香師の技」というテーマで香りにアプローチしていきます。香水作りが体験できるアトリエもあります。嗅覚で感じる博物館ですね。

**イヴ・サンローラン美術館**

2017年10月3日、16区、マルソー通りにオープン。イヴ・サンローランのファッションハウスとして使われた建物に5,000枚以上のオートクチュールコレクションをはじめ、15,000個以上のアクセサリ、スケッチやコレクションボード、写真が展示されています。イヴ・サンローランの人生そのものを感じることができる美術館ですよ。

**フランスから福島を応援しています**  
**フランス福島の会**

2014年1月28日にヨーロッパ3番目の福島県人会として設立。会員約30名。会長はいわき市出身の遠藤祐子さん。2カ月毎に懇親会を開催し親睦を深めている。またFacebookにて福島の情報や会の活動を発信。東日本大震災支援のイベントにも毎年出展し、福島の実状を伝えている。

<https://www.facebook.com/fancefukusima/>

# フランス料理を作ってみよう！

様々な国の料理の中でもフランス料理は高級なイメージがありますが、今回は家庭で作る本格的で簡単なポターージュ、海老のビスクを教えてください。

## 海老のビスク Bisque de Crevettes

ビスク(BISQUE)とは、甲殻類に香味材料、白ワイン、コニャックを加えて風味の良いポターージュにしたもの。この言葉は17世紀半ば以降に用いられるようになりました。



紹介者 <sup>かんの きよじ</sup>菅野 喜代治さん  
一般社団法人福島日仏協会会員。福島県立美術館内のフレンチレストラン ミュゼ・ドゥ・カナルのオーナーシェフ。『ふくしまスイーツコンテスト2017』でも審査員を務めました。

### 一般社団法人福島日仏協会

1992年4月1日に設立。フランス語会話教室、家庭でできるフランス料理教室、映画鑑賞会などを開催し、日本とフランスの友好関係の発展に日々貢献しています。フランス料理教室は火曜日と水曜日の2教室があり、菅野喜代治さんは水曜日の講師です。



## 材料(8人分)

車海老または天使の海老	8尾
玉ねぎ	200g
人参	120g
セロリ	50g
にんにく	1.5片
エシャロット	1個
米	30g
コニャックまたはブランデー	24~30cc
白ワイン	1/3本
トマト	1個
トマトピューレ	120g~160cc
フュメ・ド・ポワソン	1,200cc
ブイヨン	720cc
カイエンまたはペッパー	適量
オリーブ油	56cc
バター	40g
塩こしょう	適量
ローリエ・タイム	適量

## 作り方

- ① ミルポア\*1を炒め、そこに海老の頭と海老をむいた殻を炒めてフランペ\*2する。
- ② 白ワインを入れ、1/3の量に煮詰める。それからフュメ・ド・ポワソン\*3とブイヨンを加え、お米を入れる。
- ③ 香草ローリエとタイムを加え、次にトマトピューレを加え約40分煮込む。アクは時々レードルで取る。そしてシノワ\*4で裏ごしし、味を整える。
- ④ 海老の身は、小さくカットして軽く茹でて浮き身に使い、煮汁は前のスープに加える。

**大切なポイント!**  
焦がさないようにきちんと炒めて煮込むことです。

\*1 ミルポア…野菜を細かく切ったもの(玉ねぎ、人参、セロリ、にんにく、エシャロット)  
\*2 フランペ…ブランデーを入れ燃やして香りをつけること  
\*3 フュメ・ド・ポワソン…フランス料理で魚介料理に用いるだし汁  
\*4 シノワ…非常に細かい目の円錐形をしたこし器

私たちは、賛助会員(団体)として協力しています。

(平成29年7月~12月末受付分)

会津土建株式会社	法務大臣告示校:福島日本語学院	(公財)AFS日本協会 福島支部
中島村国際交流協会	南相馬市国際交流協会	会津喜多方国際交流協会
公益財団法人福島県産業振興センター	白河市国際交流協会	福島市日本中国友好協会
福島市国際交流協会	田村市国際交流協会	三和工業株式会社
郡山ユネスコ協会	株式会社本多組	一般社団法人福島日仏協会
伊達市国際交流協会	川俣町国際交流協会	陽光社印刷株式会社

ぶらっと  
Fukushima

福島県に住んでいる外国出身者に自分のお気に入りの福島を紹介してもらいます。

私の  
お気に入り

## 世界で一番ロマンチックな只見線

私が福島県で生活するようになったのは2013年4月から。県内でも特に日本の原風景が残っている奥会津に魅力を感じています。生まれ育った上海は便利で時間の流れが早く感じるけど、奥会津は逆。じっくり話をするので、教わるのがたくさんあります。

JR只見線は、道の駅「尾瀬街道みしま宿」近くの遊歩道から見える第一只見川橋梁を渡る様子が有名ですが、訪れた人にはぜひ、乗車してほしいです。おすすめの駅は早戸(はやと)駅。無人駅ですが、温泉があり渡し船に乗ることもできます。おすすめの乗車区間は早戸駅～会津宮下駅。この区間の車窓からの眺めは渓谷美にあふれています。今回訪れたのは雪景色の時期ですが、新緑や紅葉の季節もぜひ見てほしいです！



徐さんが撮影した只見線の写真はQRコードでご覧いただけます。



撮影:Kaoru SHIGA



撮影:Kaoru SHIGA



紹介者 徐銓軼さん

中国・上海出身。国費留学生だった伯母などの影響で、幼少から日本文化に触れる。立命館大学留学、福島県上海事務所勤務を経て、現在は国際交流員として福島県国際課に勤務。

須賀川多文化共生ネット

福島県商工会議所連合会

株式会社トーカン

玉川村日華友好協会

株式会社福島県中央計算センター

会津坂下町国際交流協会

日本赤十字社福島県支部

福島民報社  
<http://www.minpo.jp/>

福島県農業協同組合中央会

ふくしま青年海外協力隊の会

福島県南土建工業株式会社

磐梯町国際交流協会

福島中国伝統文化愛好会

福島県国際理解教育研究会

会津バスグループ  
会津トラベルサービス株式会社

ふくしま子どもの日本語ネットワーク

にほんまつ地球市民の会

有限会社 エンドースクリーン

## (公財)福島県国際交流協会は4つの基本方針に基づき事業を実施しています。

### 基本方針

- 1 多文化共生による地域づくりを推進します。
- 2 多様な主体とともに国際交流・国際協力活動を推進します。
- 3 グローバル社会で活躍できる人材を育成します。
- 4 海外での風評の払拭に向けて、福島の実状を正確に伝えます。(第5期運営基本計画より抜粋)

### 賛助会員を募集しています

当協会は、国際交流を通じて地域の活性化とより豊かな県民生活を実現するため、さまざまな事業を行っています。当協会の趣旨に賛同し、会費という形で当協会の活動をサポートして下さる「賛助会員」を募集しています。

#### ■年会費

個人会員 3,000円/月  
 団体会員 10,000円/月

#### ■振込先

公益財団法人 福島県国際交流協会  
 郵便局口座[02130-2-15560]

#### ■会員の特典

- ① 当協会主催事業をはじめとした国際交流・協力に関わるさまざまな情報を掲載した広報紙「ジャイロ」(年2回発行)をお届けします。
- ② 当協会所蔵の書籍や資料、ビデオを無料で借りることができます(一部貸出しできない本もあります)。
- ③ 団体会員については、国際理解出張講座を負担金(1講座につき6,000円以上)3,000円でご利用いただけます(旅費込)。
- ④ 団体会員については、広報紙「ジャイロ」で団体名をご紹介します。

#### ■所得控除

当協会への賛助会費は、税制上の優遇措置があります。

なお、寄附金も募集しています。

詳しくは、当協会HPをご参照いただくか、直接お問合せください。

### 外国出身者のための相談窓口・電話による通訳サービス

当協会では、外国出身者のための相談に多言語で対応しています。また、外国出身者が役場等でさまざまな手続きをする際、電話で通訳します。

#### ■英語・中国語・日本語

火曜日～土曜日 9:00～17:15

#### ■タガログ語・ポルトガル語・韓国語

木曜日 10:00～14:00 (但し、第4・5木曜は事前予約が必要)

[相談専用] TEL 024-524-1316  
 FAX 024-521-8308  
 E-mail ask@worldvillage.org

### 寄附受納式を行いました

平成29年11月28日、平成29年度福島県優良建設工事表彰を受賞した35社の企業の皆さまから、当協会へ寄附金をいただく受納式を執り行いました。皆さまのご厚意に感謝申し上げます。



▲右は三栄建設株式会社 代表取締役 柳沼秀徳様  
 左は当協会理事長の今野順夫

### 当協会の平成28年度事業報告はHPに掲載しております。

詳しくは、FIAのご案内ープロフィールをご覧ください。



## 公益財団法人 福島県国際交流協会

TEL 024-524-1315

FAX 024-521-8308

E-mail info@worldvillage.org

〒960-8103 福島県福島市舟場町2-1

福島県庁舟場町分館2階

福島県国際交流協会  検索

<http://facebook.com/fiainfo/>

